

# 『第11回 日本の木の家づくりサミット in 東海』開催報告

地球の会では、2021年6月15日(火)に「第11回日本の木の家づくりサミット in 東海」をオンライン開催いたしました。当日は、事前お申込みをいただいた205社よりPCやタブレット等、500デバイスを介してご視聴をいただきました。今回の東海サミットのテーマは『地域で強烈な光を放つイノベーション 競争力の源泉を紐解く～営業・設計・工事(現場管理・大工)国産材住宅3つの活路～』として、営業・設計・工事に携わる8名のパネリストにイノベーション実例を発表いただきました。また、後半プログラムでは分科会・委員会・あすなる会の活動内容・成果報告を行いました。

## < 東海サミット“参加者のお声”を一部ご紹介いたします >

- プレゼン①国産材住宅3つの活路「営業」
  - 『自分の家へようこそ』と、自宅へ招くように顧客を迎えるスタイルに感銘を受けた。
  - 営業を置かずチーム全体で営業をするというところを真似したいと思った。
  - イベントを常に意識しながら顧客を誘導すること、OB顧客の戦力化などが参考になった。
- プレゼン①国産材住宅3つの活路「工事」
  - 男女問わない働き方の大切さを学んだ。
  - 目的や目標を持って仕事をしている人たちの話は力強く勉強になった。
  - 凡事徹底・率先垂範などプロとしての姿・眼差しが刺さった。
- プレゼン①国産材住宅3つの活路「設計」
  - 工務店と建築家の関係性が理解できた。
  - 地域工務店設計のあり方を考えさせられた。
  - 「本物について考える」「家族の生き方をつくる」「家を建てるのは生活の見直し」という言葉が印象に残った。

その他にも“全国での横の繋がりの意義や国産材を使用した住宅への想いを勉強させてもらった”と多くの皆さまよりお声をいただいております。

**< 代表挨拶 >**




理事長  
安成 信次氏

**< 営業 >**



株式会社 山口支店  
店長 リーダー  
廣瀬 宏幸氏 藤本 久美子氏

**< 工事 >**





新産住拓務 工務部  
農上 ひかり氏

株式会社 武藤 邦弘氏

株式会社 土屋 正子氏

**< 設計 >**





半海 宏一氏

株式会社 中嶋 一将氏 中川 紗季氏

株式会社 石橋 常行氏

**< 総括 >**



副理事長  
石橋 常行氏

東海サミット 開催報告ページはこちら >

< URL > <http://www.chikyunokai.com/summit/report/11>



地球の会 Vol.63  
NPO法人 環境共棲住宅

2021年7月31日発行  
〒530-0022 大阪府北区浪花町1-23 第10新興ビル601  
TEL06-6292-8121 FAX06-6292-8122  
e-mail: info@chikyunokai.com  
http://www.chikyunokai.com  
発行責任者: 安成 信次

## 第17期「地球の会」各種事業のご案内

第17期も各種事業活動を通じ、業界及び会員各社の更なる発展に寄与して参ります。今後とも皆さまの厚いご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### ■ 第5期分科会 キックオフ大会 [開催日: 2021年9月27日(月) 13:30~]

・第5期分科会の本格始動を前にキックオフ大会を開催いたします。是非ご期待ください。

分科会	「ブランディング・広報・集客」分科会 (仮称)	
	「チームビルディング」分科会 (仮称)	
	「リフォーム」分科会 (仮称)	
	※ キックオフ大会詳細については、地球の会事務局よりメールにてご案内いたします。	
委員会 あすなる会	SDGs推進委員会 / 大工・職人育成委員会 / 採用委員会 / 山との連携委員会 (仮称)	
	あすなる会	
木の家 設計・施工 フォーラム	若手設計者の施工技術スキルアップ研修会	
	建築家会員と工務店会員交流勉強会	
	若手建築家会員設計 住宅リモート探訪	
その他 事業	工務店会員と建築家会員の事業連携制度	木の家づくりプロポーザルコンペ
	海外旅大工職人さん 日本研修	ブロック会議
	イノベーション勉強会	設計セミナー (全6回)
	日本の木の家認証制度	森林見学体験ツアー
	① CO <sup>2</sup> 固定量認証制度 ② カーボン・オフセット認定制度	

### ■ 『地球の会』公式YouTubeチャンネル開設のご案内

・この度、地球の会公式YouTubeチャンネルを開設いたしました。是非皆さままでご覧ください。動画が良いと思われた方は、チャンネル登録と高評価ボタンをよろしくお願いいたします。

YouTube < URL > <https://www.youtube.com/channel/UCqGtCUt319RTJ24SyLcfEQ>

『地球の会』公式YouTubeチャンネルはこちら >



## 地球の会『協力会員 特集』 第十三号

水まわりって、大切だから

### Takara standard

すべての人の暮らしを、より心地よくするために。

Living with Takara standard.

いいものと暮らすことは、暮らしを愛すること。そんな想いがあるからこそ、わたしたちは高品位ホーローにこだわります。

私たちの始まりは、1912年。ホーローのパイオニアとしてスタートしました。その後、1962年に世界最初のホーローキッチン開発に成功。100年以上もホーローとともに歩んでまいりました。

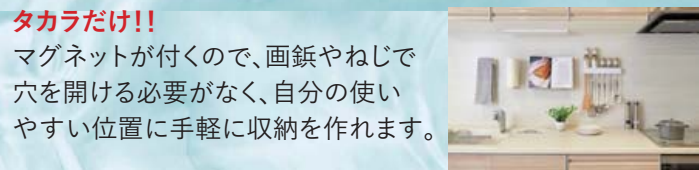
#### ホーロー家事らくキッチン



中部特販支店 支店長  
眞鍋洋輔氏

わたくしどもタカラスタンダードは皆さまのおかげをもちまして、本年創業110年目を迎える企業に成長させていただきました。猛スピードで変わり行く住宅業界におきまして昨年よりコロナ禍、ウッドショックと想像もできなかった逆境にさらされておりますが、出口は近いと信じ、足元固めをする時と感じております。わたくしどもは、今こそ社是にもあります「原点回帰」を強く意識し思いやりを込めた素材選びと日本の暮らしを考えた物づくり。愛され続けるスタンダードを目指し、皆さまと共に更なる成長を遂げるべく日々努力する所存でございます。今後とも益々のご支援、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

タカラスタンダードは、暮らしを愛し続けるからこそ、進化します。



**タカラだけ!!**  
マグネットが付くので、画鋲やねじで穴を開ける必要がなく、自分の使いやすい位置に手軽に収納を作れます。

**美しさ**

汚れがしみこまないの、お手入れ簡単。キッチン回りの油汚れや、お風呂の水垢汚れも簡単に落とせます。

**強さ**

染みやカビ、傷みや腐食などもなくとても長持ち。

**快適さ**

気になるタバコやペットのにおいも染み込みません。においが染みつかないからいつも快適。



# 「EQ志向」と「三つの志」を原点に、理念経営をつらぬく

— 100年後も地域のお客様のために在るために —

## MEMBER'S PROFILE

### 中庭住宅 株式会社

代表取締役 中庭公明氏



香川県高松市

『だれもが住みやすい  
しっかりとした構造の家を  
標準仕様で提供』

お客様本位の家づくりで  
地場オンリーワンを目指す』

<https://www.nakaniwa-inc.jp>



セトラ高松平屋モデルハウス（内観）

今回は「地球の会」設立時からのビルダー会員『四国ビルダーの雄』中庭住宅を訪問し、創立者であり現会長の中庭護氏と社長の中庭公明氏にお話をうかがいました。

### ひとり立ちを支えた “三つの志”

1995年、現会長中庭護は父・兄と別れ、自分の足だけの会社中庭住宅を立ち上げた。

「小さくてもいい、自分の足で立ちたい」と思って出発したものの、もともと経営者になりたいと思っていたわけではない中庭氏にとっては、とても不安に満ちた出発だった。その彼の心の支えになり、力になってくれたのが日本創造研究所の田舞徳太郎氏だった。

『志』を高く持って偉大なる会社の歴史、自分の歴史を創っていくこうと、三つの志を掲げ、51歳の再スタートだった。

- 木造注文住宅で、100%満足していただける住宅を提供する『志』の集団。
- 建築後のユーザーや関係者、地域銀行等の信頼も高く、安心して任せられる『志』の集団。
- 各部署間の報告・連絡・相談を密に行い、お客様に喜んでいただくため、思慮・工夫・努力する『志』の集団。

という三つの志は、設立と共に中庭住宅の経営理念として掲げられ、今もゆるぎない。



セトラ高松展示場（外観）

### 二つの大きな トラブルが生んだ 『CS研修』の徹底

お客様が安心して任せられる会社をつくらうという理念のもとにスタートしたが、設立後3年目に二つの大きなトラブルを起こした。「浄化槽の上に基礎をつくってしまった」もう一つは「基礎の高さが違っていった」という信じられないような手違いが発覚し、すぐにやり直しを指示した。“お客様が安心して任せられる会社をつくらう”という理念の会社がお客様を不安にさせる問題が起こったのである。すぐに全社員による1泊2日の研修を行った。

それ以来この研修は、毎年6月に業者会も含めた全員による『CS大会』として、毎回200人以上が参加し実施されている。その研修内容は、引き渡し後のお客様アンケート結果に基づく“声”がベースとなっている。中庭住宅では、この『CSアンケート』はそのトラブル以来100%回収が義務付けられ、必ず実行されている。毎月の業者研修会で、お客様の生の声は常に社員・協力業者全員に共有され、お客様との繋がりが満足度を確認するとても重要な場となっている。



平屋の家「duet (デュエット)」(外観)



平屋の家「duet (デュエット)」(内観)



中庭住宅 経営方針発表会 毎年恒例・1月11日

毎年恒例の経営方針発表会



取締役会長 中庭護氏



巧みにデザインされた壁のスリット

### 過不足のない 『標準仕様の家』で お客様本位の家づくり

世の中には、様々な家がある。贅沢な設備をたっぷり詰め込んだ家、自然素材で健康に配慮した家、個性的なデザインで目を引く家。それぞれの特徴を訴えて、お客様を獲得しようと懸命になっている。

そんな中で中庭住宅は、敢えて際立った特徴のない“だれもが住みやすい家”を提供している。しっかりとした構造の家で安心して毎日を送ることができる家として『標準仕様の家』に力を入れている。普通、標準仕様と言うと、最低の仕様で、お客様が必要なものはオプションとなっていて、オプション一つごとに費用が加算されていく。そうではなく、“お客様が本当に必要としているものを標準仕様”として1円も加算することのない家を提供している。だから、中庭住宅の標準仕様は、他社に比べてハイレベルで、しかもリーズナブルな価格だ。

「お客様の喜ばれる顔を見るのが何より嬉しい。そのために、過不足なく、一歩先を行く家をつくりたい」。中庭住宅の家はまさにお客様本位の家づくりだ。

### 創業以来続いている “EQ志向”確認の場 『経営方針発表会』

中庭住宅には、創業以来“思いやり”と“他人の気持ちを感じていく共感力”を『自覚し、尊重し、納得できる判断力と行動力で地場企業のオンリーワンを目指す』というEQ志向に基づいた考え方がしっかりと息づいている。それを確認する場が、毎年1月4日に行われている『経営方針発表会』である。

創立以来欠かさず毎年、年の初めのこの日に行われている。この日は社員だけでなく、協力業者、取引先メーカーなど総勢約200名が参加して行われる年初の一番重要なイベントだ。各部門のスタッフ全員がその年の目標とスローガンを発表しさらなる前進を誓いあう場となっている。

### 地域の企業として 当たり前の 『社会貢献活動』

どんなに素晴らしい家ができても、家の中だけが心地よければ良いというものではない。家族を取り巻く社会や未来の子どもたちに残すべき自然環境など、私たちが安心して暮らすためには大切に守っていか

なければならないものが沢山あるという考え方が浸透している中庭住宅は創業以来「交通遺児を励ます会」への寄付などの『社会貢献活動』、高知県早明浦ダム上流での間伐と下草刈りなどの『林業育成活動』、創業者中庭護の故郷豊島の海岸清掃などの『環境改善活動』などが社員、協力業者みんなの手で継続的に行われている。

### 2030年完工住宅3,000棟 新たなブランドづくり に向けて

今年6月、中庭住宅は2,500棟の完工を達成した。次の目標は2030年3,000棟だが、二代目社長中庭公明氏にはこの数字はあと5~6年以内に達成できることが、ほぼ見えている。

彼は今ひそかに、これとは別に新たな目標を立てている。

100年後もここに在り、この地域でお客様に心地よい暮らしをお届けするために、この地域にふさわしい、新たな中庭住宅のフラグシップとなる『地域ブランド住宅-中庭の家-』づくりだ。

今までとは違った、“この地域らしい木の家をつくりたい”という彼の目標はきっと、さらに次の代に向けた新しい基盤となるだろう。